セミの抜け殻調査報告書2015

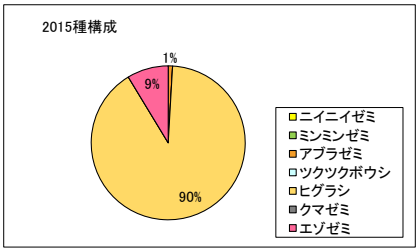
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

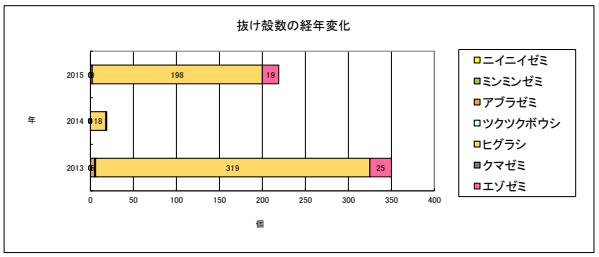
列や行は削除はしないでください。

年度	2015
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市灘区六甲山町六甲山記念碑台
サイト名	小学校ｺｰｽ
周辺の環境	山
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	久保　紘一

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ｸﾏｾﾞﾐ、ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｽｷﾞ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ﾋｻｶｷ、ﾕｷﾔﾅｷﾞ、ｱｵｷ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　　中学生　　小学生　　幼児

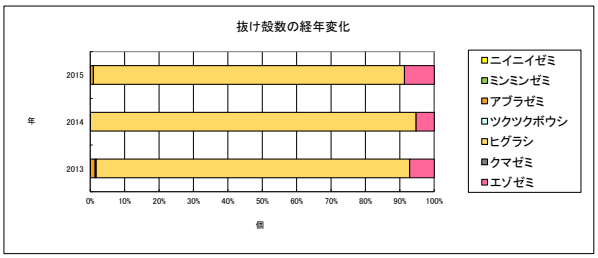
種	♂♀	7/24	8/5	8/24	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	1	1	2
アブラゼミ	♂	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	0	0	0	0
アブラゼミ	計	0	1	1	2
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	49	17	8	74
ヒグラシ	♀	51	38	35	124
ヒグラシ	計	100	55	43	198
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
エゾゼミ	不明	0	0	1	1
エゾゼミ	♂	5	4	3	12
エゾゼミ	♀	3	3	0	6
エゾゼミ	計	8	7	4	19
	合計	108	63	48	219





集計表

	2013	2014	2015
ニイニイゼミ	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0
アブラゼミ	5	0	2
ツクツクボウシ	1	0	0
ヒグラシ	319	18	198
クマゼミ	0	0	0
エゾゼミ	25	1	19
総計	350	19	219



コメント：（改行：ALT+ENTER）
企業の保養所の新築・改築が増えてきており建設場所周辺の樹木の伐採や建設工事に
伴う地面の掘り返しのため羽化数は減っている。
（昨年は悪天候により収集作業自体が困難であったため比較の対象とはならない）
エゾゼミはマツやスギの高いところに止まって鳴くので成虫を捕まえるチャンスはあまり無いが
本年は羽化直後の成虫と思われるエゾゼミを２匹捕獲できたのは幸いであった。

セミの抜け殻調査報告書2016

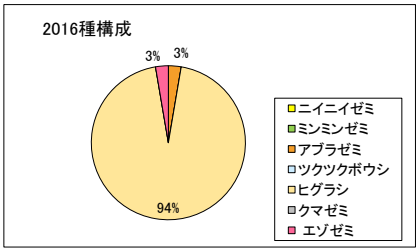
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　ブルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

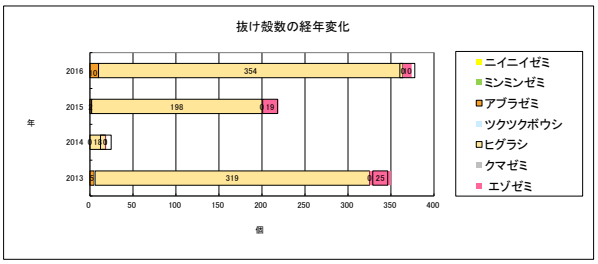
列や行は削除はしないでください。

年度	2016
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市灘区六甲山町六甲山記念碑台
サイト名	小学校ｺｰｽ
周辺の環境	山
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ｸﾏｾﾞﾐ、ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｽｷﾞ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ﾋｻｶｷ、ﾕｷﾔﾅｷﾞ、ｱｵｷ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 延べ７名

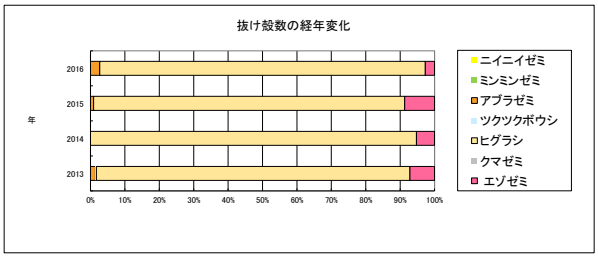
種	♂♀	7/31	8/15	8/21	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	2	1	2	5
アブラゼミ	♀	1	3	1	5
アブラゼミ	計	3	4	3	10
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	113	7	27	147
ヒグラシ	♀	143	27	37	207
ヒグラシ	計	256	34	64	354
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
エゾゼミ	不明	0	0	0	0
エゾゼミ	♂	4	0	4	8
エゾゼミ	♀	0	1	1	2
エゾゼミ	計	4	1	5	10
	合計	263	39	72	374





集計表

	2013	2014	2015	2016
ニイニイゼミ	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0
アブラゼミ	5	0	2	10
ツクツクボウシ	1	0	0	0
ヒグラシ	319	18	198	354
クマゼミ	0	0	0	0
エゾゼミ	25	1	19	10
総計	350	19	219	374



コメント：（改行：ALT+ENTER）

7/31：小学校前のヤブツバキの植込みとそれに続くスギの木立道で大量のヒグラシが羽化しており
この区間だけで２４０余個の抜け殻を収集、これまでの最多数量を記録した。
エゾゼミの鳴き声もあちこちから聞こえ、抜け殻も４個を確保、まずまずの出足となった。
8/15：11日に小学生対象の環境学習プログラムがあり、自然観察講座で調査区域の一部を使って
「セミの抜け殻集め」を行った後だったが、今年は全体に羽化が前倒しになっていたおかげで影響は
すくなかったようだ。（11日に集めた数量は20個くらい）
8/21：記念碑台周辺といえど連日の猛暑でエゾゼミは盛んに鳴いているがヒグラシの声を聞くことは
ほとんどない。南方洋上の台風は、北上が早いのや遅いのが出始め、進路も迷走気味。
山上では今年もミンミン、ツクツクは声だけで終わってしまった。

セミの抜け殻調査報告書2017

■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

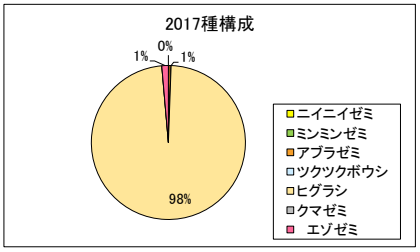
年度	2017
都道府県名	兵庫県
調査地名	神戸市灘区六甲山町六甲山記念碑台
サイト名	小学校ｺｰｽ
周辺の環境	山
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	八巻　晤郎
再検者	

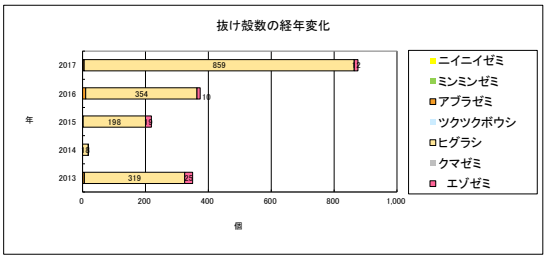
調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ｸﾏｾﾞﾐ、ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ
調査地の主な樹木	ｽｷﾞ、ﾔﾌﾞﾂﾊﾞｷ、ﾋｻｶｷ、ｺｼｱｶﾅｷﾞ、ｱｵｷ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 延べ12名

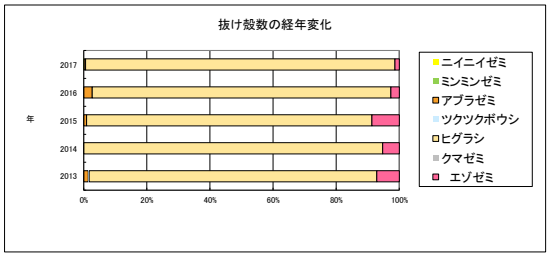
種	♂♀	7/30	8/6	8/11	8/27	/	/	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
アブラゼミ	♀	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
アブラゼミ	計	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	208	65	46	29	0	0	0	0	0	0	348
ヒグラシ	♀	259	110	81	61	0	0	0	0	0	0	511
ヒグラシ	計	467	175	127	90	0	0	0	0	0	0	859
チッチゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チッチゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チッチゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チッチゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エゾゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エゾゼミ	♂	3	0	3	1	0	0	0	0	0	0	7
エゾゼミ	♀	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	5
エゾゼミ	計	3	1	5	3	0	0	0	0	0	0	12
	合計	472	177	133	94	0	0	0	0	0	0	876

集計表

	2013	2014	2015	2016	2017
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	1
アブラゼミ	5	0	2	10	4
ツクツクボウシ	1	0	0	0	0
ヒグラシ	319	18	198	354	859
クマゼミ	0	0	0	0	0
エゾゼミ	25	1	19	10	12
総計	350	19	219	374	876







コメント：（改行：ALT+ENTER）　（小学校/ﾎﾃﾙｺｰｽをまとめて）

今夏の六甲山は、台風は来ず大雨、大風もなく、涼しめで湿度を保つ霧が適度にかかることが多かったのかヒグラシの羽化が異常ともいえるほど進んだ。
昨年になってようやく抜け殻を見つけたチッチゼミの成虫を２回捕獲できたがアブラゼミは鳴き声の回数に比べ抜け殻は少なかった。